



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1994-5

BE A FRIEND

友達になろう

1994-5年度国際ロータリーのテーマ/ビル・ハントレーRI会長

●本日の例会

4月21日/第413回例会

■卓話 「会社はこうして潰れていく」

(株)帝国データバンク 情報部部長 熊谷 勝行氏



茶摘 文部省唱歌

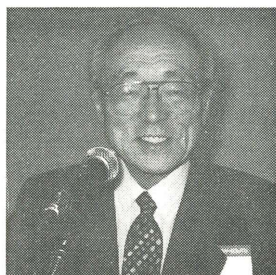
ソングリーダー 佐々木忠行君
ピアノ伴奏 泉 晶子さん

夏も近づく 八十八夜、野にも山にも 若葉が茂る。

あれに見えるは 茶摘じゃないか。あかねだすきに 菅の笠。

●先週報告

4月14日/第412回例会



■卓話

「これからの医療の変革」

佐々木研究所付属杏雲堂病院院長 天神 美夫氏

■会長報告

① 矢野地区ガバナー・竹尾地区国際奉仕委員長・小野地区R財団委員長・由井地区GSE委員長の連名でGSE受入協力のお礼状をいただきました。当クラブでは3月15日の千代田分区受入行事に石坂国際奉仕委員長と宮本国際奉仕委員に参加していただきました。

② 石崎幹雄会員が一身上の都合により4月7日付けで退会致しました。

■親睦活動委員会 (関 委員長)

5月11日(木)のゴルフ会、まだ5名のワクがありますのでご参加ください。

■次期幹事報告

7月7日、新年度初日の例会日が、ガバナー公式訪問です。次年度各委員長の方々、準備のほどよろしくお願いします。

■次期職業奉仕委員会 (吉田委員長)

2750地区次期職業奉仕委員会より、社是社訓の公募の依頼がありました。就きましては社是社訓につきアンケートを実施させていただきますので、社是社訓を制定している会員会社で公表しても差し支えない方のご協力の程をお願い申し上げます。4月21日(金)までに事務局に提出して下さい。

■慶事披露 ●PHF/渡部 一元君

■出席報告 ●会員70名・出席44名・欠席26名(出席規定免除者3名)

ビジター(7名・敬称略) 吉原 一郎・高杉 彦二(以上東京)、栗原富士男(東京日本橋東)、有田 弘・松方 清・西山 巖・H. Schmidt(以上東京南)

ニコニコBOX

順不同、敬称略

4月14日/10件

¥64,000

94-95年度累計

¥1,881,245

多額の御寄付を有難うございました。

バストガバナー秋山 一/4/9卓話のお車代をニコニコボックスへ頂戴しました。島田 昌雄/何かと騒しい春ですが、満開の桜の下孫二人幼稚園に通い始めました。植田 和男/2週間のモクスワ出張より戻りました。お誕生日のお祝いも頂けるそうで楽しみにしてました。入沢 頼二/55才になりました。質素に、簡易に明るく生きたいと思っております。後藤 信夫/本日クラブ協議会よりよろしくお願い申し上げます。渡部 一元/暫く留守いたしました。これから又フル回転で頑張ります。谷村 義雄/胃のポリープを取り元気になりました。西沢 正雄/メーキャップが続きました。山川 政樹/バッチを忘れしました。平井 逸夫/臨時のニコニコ当番をつとめました。皆様のご協力に感謝いたします。

●他クラブ例会

休会のお知らせ

4/26(水) 休会→東京城西RC

5/2(火) 休会→東京新橋RC、東京みなとRC、東京日本橋RC、東京西南RC

●次週予告

4月28日/第414回例会

■卓話予定 イニシエーション・スピーチ

「高齢化社会を健やかに生きるには」

当クラブ会員

新赤坂クリニック内科部長 高橋 良士君

■第5回クラブ協議会

4月14日(金) 例会後13:40~15:10

東京全日空ホテル B1 八雲の間

出席者(敬称略) 青野、荒木、芦谷、馬場、後藤、伊部、入沢、石坂、川鍋、宮本、宮武、村川、二宮、大日方、斉藤、佐藤、関、四分一、島田、新保、田島、武下、田辺、田中、植田、渡部、渡邊、山川、柳澤、横山(以上30名)

テーマ「本年度是が非でもしなければならないこと」

後藤幹事の司会により、先ず馬場会長よりこのクラブ協議会の趣旨説明があり次に討議に入った。

(1) 会員増強について (会員増強委員 宮武)

会員増強については、毎年その必要性が確認されてきています。本日のクラブ協議会のテーマ「本年度是が非でもしなければならないこと」の一つとして、改めて会員増強について考えてみたいと思います。

会員増強の必要性については、①クラブの活性化のため、②クラブの適正規模を確保する、③職業分類のバランスを保つ、などいくつかの理由があります。

当クラブは、現在70名の会員数ですが、毎年数名の退会者があり、これを補ってクラブの活性化を図るべくためには、常に積極的な会員増強策をとり続ける必要があると思います。

会員増強の原点としての職業分類のバランスについては、改めて「充填未充填職業分類表」に立ち戻る必要があります。会員全体が当クラブの職業分類表の問題点に心を配らなければならないと思います。

会員増強の推進体制としては、もとより会員増強委員会がその責務を担っていますが、同時に、クラブ奉仕委員会の関係委員会との密接な連携活動が必要不可欠です。ところで、当クラブでは余り気にされていませんが、特別委員会の原則、即ち職業分類委員会とロータリー情報委員会の委員の3年継続の原則は、会員増強の適正な運営のためにも改めて注目する必要があります。

後藤幹事：「銀行(金融機関)の支店長クラスまで入会の中を拡げることも考えるべきではないか。」という点に的を絞って、皆様方のご意見をお聞かせたい。

島田会員：賛成である。多少デメリットがあるとしても運営方法で良い方向にむかうと思われまふ。

田辺会員：以前にも論議したことですが、企業の運営に関わる役員(支店長)であれば良いが、各金融機関の支店長となれば、信用金庫・信用組合等と歯止めがなくなる事もあり、今一度、論議されたらどうでしょうか。

渡邊会員：銀行の支店長となると多忙で、転勤が定期的に行われるので、ロータリーライフにふさわしくないのではないかとと思われるが、前向きに考えなければならぬと思います。

田島会員：職業分類表の不備な箇所を短年度ではなく、2~3年かけて作成すべきではないか。

(2) 会計の現状と展望について (会計 大日方)

本年度は、「8人入会し、会員数は変わらない」という前提で予算を編成した。クラブ会計は、一般会計、ニコニコボックス会計、ビジター会計、基金会計の4つから成っているが、重要なのは一般会計である。一般会計の支出は、地区へ納める対外分担金、例会費クラブ運営のための人件費や事務所費用などの一般諸経費と、8つの奉仕委員会を除く(これはニコニコボックスの収入でまかなう)、12の委員会費用である。委員会費用の中では、クラブ会報、プログラム、ソングリーダー、親睦などの支出が大きい。これらの支出を会員収入でまかなうが、本年度の予算では、25,900千円の収入を予定し、一般会計支出は26,900千円で、約1,000千円の赤字になる予定である。この赤字は、基金会計の入会金収入で補填することになる。本年度も残り2か月半になったが、現在までの入会者は4名、計画より2人少なく、基金会計の収入は600千円マイナスである。一般会計の収支は、ほぼ予定通りである。

しかし、今後入会者が少なく退会者が増えて、会員数の減少した場合、年会費360千円を変えずに、現在のレベルを維持しようとする、と、会員が65名になると一般会計の赤字は、2,200千円に達する。赤字を減らすには、クラブ会報の版下作成を会報委員が持ちまわりで行ったり、例会のピアノ演奏をやめてテープにしたり、誕生日祝いを減らしたりしなければならない。会員数が60名になると、さらに赤字が増え、今の例会場で例会を行うことができなくなる。

これを解決する1つの方法、会費の値上げである。年会費を40千円あげて400千円にすると、会員数が60名でも収入は2,400千円増えるので、現在のレベルを維持できる。

もう1つの方法は、全会員の努力によって、入会者を増やし、会員の増強をはかることである。これがクラブ発展のための健全な方法であり、是非そうしたいものである。

後藤幹事：本年度の会計の現状から、シビアーに取り組んでいかなければならないが、経費の節減と共に奉仕活動にプラスになる様な例会のあり方等、会計の現状について皆様方の御認識いただきたい。

(3) 来日青少年交換学生の引き受けについて

(次期青少年委員長 宮本)

約4年前、当クラブとしては初めての受入学生のシャリンがオーストラリアより来日しました。不安そうな面持ちで成田空港に到着した彼女が、一年経ち、大変な親日家となり帰国した事は記憶に新であります。

初めての留学生受入としては大成功であったと思います。しかしその反面、その成功はホストファミリー、カウンセラー、並びに極く一部の会員の献身的な奉仕によるものであります。シャリンが帰国した後、1992年4月10日のクラブ協議会において、青少年交換についての反省会が行われました。その中で指摘された事はPR不足と一般会員の関心の低さでありました。更にはホストファミリーより、表には出ない種々の問題点の報告があり、その負担を再認識しました。しかし最終的には担当した方々が揃って、大変楽しい思い出が残ったと発言しておりました。これは為し遂げた方のみならず与えられる満足感でありまふ。

さて本年の8月、米国ネブラスカ州より、15才のレーチェル・ブレイザーさんが来日する予定です。初めての外国生活、そして大都会とは縁の遠い小さなウェイン市より来る彼女は不安一杯で到着する事でしょう。唯一の頼りは新南ロータリークラブの皆様方の暖かい歓迎です。

青少年交換委員会からのお願いはただ一つです。交換学生はクラブが受入なのです。ホストファミリーやカウンセラーのみに任せておくのでは意味がありません。彼女が滞在する一年間に会員全員が何らかの形で参加して、コミュニケーションを深めていただきたい。本年度のテーマはBE A FRIENDです。レーチェルさんに対する友情とおもひやりを全員で心掛けて、彼女に素晴らしい思い出をプレゼントしようではありませんか。

四分会員：予算の件で(200万円)大半のクラブでは毎年受け入れる訳ではないので、前期・今期・次期と長期的に予算組を行っているクラブもごぞいます。参考までに。

田島会員：ホームステイを引き受ける会員が片寄りがちである。多数の会員が協力し合える方法を考えるべきである。

(4) まとめ

(会長 馬場)

長時間、真剣なご討議ありがとうございました。現在、理事会としては、会費値上げや例会場移転等現状を悪くする方向での解決は考えておりません。是非共、会員お一人一人が自己の問題と受けとめていただいて、今期4名以上の会員増強ができますようにご協力を心からお願い申し上げます。

東京新南ロータリークラブ

会長：馬場一廣 副会長：二宮利泰 幹事：後藤信夫

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日・12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

吉田 用親、柴藤清三郎、川鍋 二郎、
田中 武、山川 政樹、梶内 滋男、
宮本 正祥、新保 國彦、横山 秀明、
河原 勢自(編集担当順)